

PARTE IV (N11 – N13)

N11 c

【正答率】17.4%

F: Buongiorno, signor Salvatore. È già arrivata la posta, stamattina?

M: Oh, buongiorno dottoressa. No, la posta oggi non è ancora arrivata. Aspetta qualcosa di importante, di urgente?

F: Sì. Si tratta di un pacco che dovrebbero recapitare in mattinata e... Senta, non è che, gentilmente, può ritirarlo Lei e portarmelo su in ufficio quando arriva?

M: Certamente, stia tranquilla. Appena arriva, glielo porto su io.

【訳】(女)おはようございます、サルヴァトーレさん。今朝は、もう郵便物は届きましたか？(男)ああ、おはようございます、先生。いいえ、郵便物は、今日、まだ届いていません。何か大事な、急ぎのものを待っているのですか？(女)ええ、小包でして、午前中に配達しに来るはずなんです……。あの、もしよろしければ、届いたら、あなたが受け取って、上の事務所に持ってきてくださらないでしょうか？(男)もちろんです、安心してください。届いたら、すぐに私が上に持っていきます。

N12 b

【正答率】83.8%

F: Alla domanda “Matrimonio o convivenza?”, il 62% degli italiani ha risposto senza esitazione di essere favorevole al “matrimonio”. Il 27,4% si dichiara invece pienamente d'accordo con la “convivenza”, poiché il “matrimonio” secondo loro è solo una tradizione superata e un'inutile spesa. Poco più del 10%, infine, non ha espresso preferenze, sostenendo che ognuno ha il diritto di costruirsi una famiglia come vuole.

【訳】(女)「結婚か、同棲か？」という質問に、イタリア人の62%が「結婚」に賛成だと、ためらうことなく答えました。一方、27.4%の人は、「同棲」に全面的に賛同すると明言しました。なぜなら「結婚」は、その人たちによると、時代遅れの伝統で、無駄な出費にすぎないからです。最後に、10%強の人は、好きなように自分の家庭を築く権利が各自にあると主張して、どちらを選ぶか表明しませんでした。

N13 a

【正答率】80.2%

M: State cercando la seconda casa al mare ma siete ancora indecisi? Abbiamo quello che fa per voi! Un monolocale di 55 mq al primo piano di un'elegante palazzina di tre piani, a due passi dal centro di Albenga. Bagno con box doccia, zona soggiorno e angolo cottura. Senza balconi, ma arieggiato e luminoso. Il prezzo? Un vero affare! Se non ci credete, telefonateci allo 0732-8324767! Resterete a bocca aperta!

【訳】(男)海辺にセカンド・ハウスをお探して、でもまだ決心がつきませんか？ 当社には皆さんにぴったりのものがあります！ 55平方メートルのワンルームで、3階建てのエレガントなマンションの1階(日本では2階)にあり、アルベンガの中心街からすぐの所です。シャワー・ボックス付きバスルーム、リビング・スペースとキッチン・コーナー。バルコニーはありませんが、風通しが良く、明るいです。お値段は？ 本当にお得な物件です！ 信じていないのでしたら、0732-8324767にお電話ください！ 驚いて口が開いたままになるでしょう！

PARTE VII (N23 – N28)

Primo ascolto (N23 – N25)

F: Questa è la segreteria di Vanna. Adesso non posso rispondere.

Lasciate un messaggio dopo il segnale, grazie. BIP

M: Ciao, Vanna. Tutto bene? Come mai non sei venuta a lezione oggi? Io sono arrivato in ritardo, come al solito, e la prof di matematica è andata su tutte le furie. Beata lei che vive a due passi da scuola! Comunque, senti, ti ho telefonato per ricordarti che dopodomani è il compleanno di Claudio. Gli abbiamo organizzato una festa. Ci vieni anche tu? Fammi sapere. Bacio!

【訳】(女)こちらはヴァンナの留守番電話です。ただ今、電話に出られません。発信音の後に、メッセージを残してください。ありがとう。(ピーという音)
(男)やあ、ヴァンナ。全て順調かい？ 一体どうして、今日、授業に来なかったの？ 僕は、いつものように、遅れて着いたら、数学の先生がかんかんに

怒ったよ。彼女は良いよね、学校からすぐの所に住んでいるんだから！ それはそうと、あのね、君に電話したのは、明後日がクラウディオの誕生日と
いうことを、君に思い出してもらったためだよ。彼のために僕たちはパーティー
を企画したんだ。君も来る？ 連絡してね。それじゃあ！

N23 b 【正答率】52.5%

【訳】ヴァンナは今日、授業に遅刻した

N24 a 【正答率】46.3%

【訳】数学の教師は学校の近くに住んでいる

N25 b 【正答率】56.6%

【訳】明日はクラウディオの誕生日だ

Secondo ascolto (N26 – N28)

F: Simone è appassionato di filatelia da quando aveva sei anni. È stato il nonno a trasmettergli l'amore per i francobolli. Ne ha tantissimi, sia italiani che stranieri, tutti raccolti ordinatamente in decine di album. Li mostra a chiunque vada a casa sua. È una vera mania! Per lavoro mi capita spesso di viaggiare all'estero e lui ogni volta mi chiede di portargli dei francobolli. Se gli porto altre cose non le guarda nemmeno. Che tipo!

【訳】(女)シモーネは6歳の頃から、切手のコレクションに情熱を燃やしています。切手への愛を彼に伝えたのは、祖父でした。彼はそれをととてもたくさん、イタリアのものも、外国のものも持っていて、全てが整然と10冊ほどのアルバムに収められています。彼の家に行った人には誰にでも、それらを彼は見せます。本物のマニアです！ 私は仕事で外国を旅する機会が頻繁にあり、その度に彼は私に切手を持って帰って来てと頼みます。他のものを持って帰って来ても、彼は見向きもしません。何と変な人でしょう！

N26 b 【正答率】57.3%

【訳】シモーネはコレクションを6年前に始めた

N27 a

【正答率】61.3%

【訳】彼はその情熱を祖父から受け継いだ

N28 b

【正答率】27.9%

【訳】彼は仕事で外国へ頻繁に行く

PARTE I (N29 – N49)

N39/40

【訳】「ふだん私が行っている歯医者は、とても腕が良い」「私の歯医者もそうです」

N39 c

【正答率】73.7%

【解説】関係代名詞 *che* は、*da* などの前置詞を伴わないので、a)は不適切です。関係代名詞 *chi* は、先行詞(ここでは *il dentista*)を伴わないので、b)は不適切です。関係代名詞 *cui* は、先行詞と前置詞を伴います。関係節に、*da cui* が意味する *dal dentista*「歯医者のところ」を補うと文脈に合うので、c)が正解です。関係副詞 *dove* は、「～で、～に」という場所を表す *a cui* や *in cui* の代わりにしますが、人を先行詞とする *da cui* の代わりにすることは一般的ではありませんし、そもそも *da* が必要ないので、d)は不適切です。

N40 d

【正答率】28.6%

【解説】「私の歯医者も腕が良い」という文意で、直訳すると「私のもの」となります。この「私の」の部分は、*il dentista* という名詞と同等の役割を果たす必要があるので、所有形容詞 *mio* ではなく、所有代名詞 *il mio* の d)が正解です。

N41/42

【訳】もう少しご辛抱ください、奥さん。先生は到着するところです。

N41 d

【正答率】36.0%

【解説】話し手は「聞き手に対して辛抱するよう」お願いしています。このように、何かをするよう、相手に求めるときは命令法を用いるので、d)が正解です。

N42 c

【正答率】61.8%

【解説】〈*stare per* + 不定詞〉は「まさに～しようとする」という意味で、ある動作が行われる直前ということを示します。ここでの文脈に合うので、不定詞の c)が正解です。

N43/44/45

【訳】「すみません、奥さん。お願いなのですが、私に時間を教えてくださいませんか？」「あいにく、私は時計を持っていません。いずれにせよ、5 時頃でしょう。少し前に、私が家から出たときは、5 時の数分前でした」

N43 b 【正答率】46.1%

【解説】条件法現在とは、ある条件のもとで、現在から未来にかけて、実現し得るかもしれない事柄の可能性を表しますが、ここはそのような文脈ではありません。文脈に合うのは、現在の事柄に関する推測を表す直説法未来です。主語は複数の *le cinque* ですので、*saranno* の b) が正解です。

N44 b 【正答率】60.9%

【解説】「家から出る」は、「～から」という分離の意味の前置詞 *di* を使って、〈*uscire di casa*〉と表現するので、b) が正解です。

N45 c 【正答率】51.6%

【解説】「家から出た」という過去のある時点における、継続した状態を表すのは直説法半過去です。「5 時の数分前でした」を直訳すると、「5 時になるまでに数分が足りなかった」となります。動詞 *mancare*「足りない」の主語の *qualche minuto*「数分」は、意味的には複数ですが、文法的には単数です。したがって、直説法半過去の 3 人称単数に活用した、c) の *mancava* が正解です。

N46/47/48/49

【訳】「パパ、今夜、車がいるの？」「いや、私はいない」「使っている？」「どうぞ、使いなさい。でも、お願いだから、注意するんだよ！」

N46 c 【正答率】42.0%

【解説】自動詞 *servire*「～が必要だ」は、事物を主語として、誰にとって必要なかを間接補語で示します。ここでの主語は *la macchina* という単数の名詞ですので、3 人称単数の活用形 *serve* の、c) が正解です。

N47 c 【正答率】86.4%

【解説】「(交通手段)を使う」という意味の他動詞として *prendere* を使うとき、

直接補語は省略されません。ここでは女性単数の名詞 *macchina* を受ける *la* が必要です。 *potere* などの補助動詞に、動詞の不定詞を付けて使うとき、補語人称代名詞の位置は、補助動詞の前、または不定詞の末尾です。したがって、c)が正解です。

N48 d 【正答率】41.3%

【解説】「どうぞ」を意味する副詞 *pure* と共に、相手に行動を促すのは、動詞の命令法です。父と子がお互いに *tu* を使って会話をしているので、活用形は *prendi* になります。命令法の主語が *tu* のとき、補語人称代名詞は動詞の末尾に付けるので、d)が正解です。

N49 a 【正答率】61.6%

【解説】「～に注意する」は〈*fare attenzione a* + ～〉と表現します。他動詞 *fare* の *tu* に対する命令法 *fa'* に、*mi*「私に」が付いた c) と *ti*「君に」が付いた d) は、文脈に合いません。また、*fa'* と *la* が結合した b) の *la*「それを」は、*macchina* または *attenzione* を受ける人称代名詞と考えられますが、そうすると直接補語が重複することになるので不適切です。「～に」にあたる〈*a* + ～〉の部分は、しばしば省略され、ここでも省略できるので、補語人称代名詞を伴わない *fa'* だけの、a)が正解です。

PARTE II (N50 – N58)

N54 b 【正答率】43.0%

【訳】イタリア語では、ほんの少しの人々しかいないことを言うのに、「4匹の猫がいる」と言います。【解説】「とても少ない人々」のことを *quattro gatti*「4匹の猫」と言うので、b)が正解です。

N55/56

【訳】「君も、焦げたものの臭いを感じないかい？」「大変、ロースト・チキン！オーブンの火を消すのを忘れてた！」

N55 d 【正答率】60.1%

【解説】文脈から、a)の *sapore*「味」、b)の *umore*「気分」、c)の *colore*「色」、

d)の odore「臭い」のうち、適切なのは d)です。

N56 a 【正答率】62.5%

【解説】文脈から、a)の spegnere「(火や電気器具を)消す」、b)の spingere「押す」、c)の spremere「絞る」、d)の spendere「費やす」のうち、適切なのは a)です。

N57/58

【訳】「車が通る騒音やら、蚊やらで、昨夜、私は眠れなかった」「僕も寝心地がとても悪かった。それで今、非常に眠いよ！」

N57 b 【正答率】65.2%

【解説】成句〈chiudere occhio〉、直訳すると「目を閉じる」は、「眠る」を意味し、文脈に合うので、b)が正解です。

N58 a 【正答率】58.5%

【解説】ある感覚や感情を強く抱くことを〈morire di + 〉、直訳すると「～によって死ぬ」と、大げさに表現します。原因を表す前置詞 di の後には名詞を置くので、形容詞の stanco「疲れている」と sveglio「目覚めている」は不適切です。文脈から、b)の sogno「夢」ではなく、sonno「眠気」の a)が正解です。

PARTE IV

N 66

「美術館にて」

現在形を用いて、場面を描写してください。(80 から 100 語で)

【模範解答例】Oggi al museo ci sono tante persone. Un gruppo di turisti ammira un grande quadro e ascolta la spiegazione della guida. Accanto a loro un uomo anziano sta osservando un quadro più piccolo. Dall'altro lato della sala una coppia sta guardando un quadro con una donna nuda, che un pittore sta copiando. Al centro della sala due persone si riposano. Un giovane si fa una foto con il cellulare. Un bambino annoiato chiede al suo papà di tornare a casa. Un custode, seduto in un angolo, guarda l'orologio. C'è anche una donna con un libro in mano. (100 parole)

【訳】今日、美術館には多くの人があります。観光客のグループが大きな絵を鑑賞し、ガイドの説明を聞いています。その隣で年配の男性が、より小さな絵をじっと見えています。展示室の別のところでは、カップルが裸婦の描かれた絵を見ていて、その絵を画家が模写しています。展示室の中央で、2人の人が休憩しています。若者が携帯電話で自撮りをしています。退屈した子供が、家に帰ろうとお父さんをお願いしています。警備員が隅で腰かけて、時計を見えています。本を手にした女性もいます。(100 語)